

# 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.126

2016.4.5

発行：平和憲法・9条をまもる  
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

## 戦争法の廃止を求める全国2000万人統一署名

# 全県で9万筆弱、岩手の会で5万筆を集約!

各地域・組織では、2000万署名の取り組みがそれぞれの目標に向けて進められていることと思います。3月28日に、岩手の会では運営委員会を開き、各地域の会・組織の活動を交流しました。署名集約は9条の会としてまだ5万筆。「2000万署名岩手の会」の県内の集約も9万筆弱ということで（会議の時点では7万筆）、20万筆の目標にむけてさらに取り組みを強めることを確認しました。

ニュース読者のみなさん、ぜひもう一声、ご家族やお知り合いの方にお声がけいただき、署名を集めていただくようお願いします。

署名用紙を同封します。署名用紙が不足の場合は送りますので事務局にご連絡をお願いします。

各地域・組織の取り組みを紹介します。良い取り組みはどんどん取り入れ、20万筆の目標にむけて、ごいっしょに頑張りましょう!



### 一斉署名行動～花巻地域懇談会、他、あたたかくなって増えています!

3月19日、「平和憲法・9条をまもる花巻地域懇談会」（11団体参加）で地域戸別訪問を行いました。13名が参加し、約2時間で署名を528枚配布し119筆の署名を集めました。近所の産直のリニューアルオープンもあり、在宅が少なかったものの、歩いている方が署名してくれたり、チラシ配布で署名の宣伝ができたという声もありました。また、行動中には地域に街宣車を走らせ、署名で訪問していることをお知らせしたことも良かったと振り返りました。花巻地域全体の目標は16,000筆。目標にむけて、次回は4月9日に一斉署名行動を行います。

・・・その他、一関（両磐地域）では、街頭宣破棄伝より地域戸別訪問で署名を呼びかけたほうが集まるので（例えば、1時間で2人1組で30筆以上の署名を集約）、日曜日に戸別訪問に取り組んでいます。盛岡地域の9条の会では、盛岡全体として署名の取り組みをすすめるために、一斉行動日を決め戸別訪問を実施すること、また地域内を地域の会や組織で分担し戸別訪問を行うことにしました。

### 独自チラシを作成し、署名と一緒に配布～矢巾九条の会

矢巾独自チラシを作成し、署名と一緒に配布します。チラシは「私も署名しました」の欄を設けて、町長や議長、議員、教育長などに要請し、多くの町民に呼びかけるもの。会員への配布、戸別訪問などを行い、呼びかけを強めます。



### 平和を考えるつどいで、みんなで考え話し合い～紫波町内の九条の会合同

紫波町内の九条の会は、10日に1回程度会議を行い、取り組みの交流や署名の集約状況を確認。3月末で署名は目標の半分以上を超えましたが、さらに廃止にむけた活動の力にするために、4月10日（日）13時半から、オガールスタジオでつどいを開催します。小笠原基也弁護士から安保関連法（戦争法）について学び、パパとママの会代表の高橋奈々子さんから話をうかがいます。参加は無料ですので、お誘いあわせてご参加ください。

## 松園9条の会 10周年記念講演会～反戦川柳作家・鶴彬と石川啄木

松園9条の会は、3月5日、10周年記念講演会「反戦川柳作家鶴彬（つるあきら）と石川啄木」を行い、72名が参加しました。

講師の宇部功氏（いわて子ども川柳を育てる会会長）は、「鶴彬の代表的な句『手と足をもいだ丸太にしてかえし』は特高警察に逮捕される危険を知らながら、戦争反対をつらめくためあえて発表した」「鶴彬は石川啄木の大ファンで中学生

生のときから啄木短歌を誦んじ、兄のように慕っていた。啄木のすごさは『時代を読む力があること』と言いきっている」と話しました。また、各地で行った小学校5、6年生の授業で、子どもたちが鶴彬の生き方に共感し「戦争は絶対にしてはいけない」などの感想文を紹介しました。

総会では、2000万署名を4月までに1,600筆集約しようと提案し、18名の世話人、代表を決めました。また、10周年記念誌「戦後70年—未来への伝言～平和と憲法への私の思い～」の発行を報告しました（1冊500円。希望の方はご相談ください）。



### コラム 「安保法制」の廃止要求は

#### しっかりとした「歴史認識」でこそ実現する（その4—結論）

「安保法制（戦争法）施行令（政令）の施行日、29日」と22日の閣議で決定されたとの報道（23日）に接し、このままではこれからが大変なことになると思ったのは私だけでしょうか。

この懸念を裏付ける報道番組が24日夜にありました。題して1960年当時、「岸内閣の憲法調査会でも…『緊急事態条項』激論」。そこでの「改憲派」委員の発言はこれまで指摘したとおり「復古調」や「日本国憲法は民主主義だから『戒厳令』などの心配なし（あらぬ楽観論）」のものばかり。これに番組のコメンテーターは「『改憲派』は君主制復活を待望か？人権制限など権力拡大の懸念」とコメント。また、安倍首相は「美しい国（＝「大日本」）を待望する政治家であることもこれまで指摘してきました。「安保法制（戦争法）」が施行されたままでは、民主主義、自由、平和が大変なことになると思います。「戦争」は「大」は勿論「小」であっても「国家総動員態勢」であるからです。

日本国憲法が「戦争しない国づくり」、「戦争をさせない立憲主義」を宣言したものであること、これが国民のための正しい「歴史認識」であることを縦横に活用した「議論」で「国民を守るための『安保法制』」などと言う安倍政権側の「宣伝」を打ち破っていきましょう（3月25日記）。 (T)

### トピックス

#### 「安保関連法（戦争法）」の廃止を求める意見書、16市町村議会が可決！

昨年9月、岩手県議会で安保関連法（戦争法）の廃止を求める意見書が可決され、その後、市町村議会でも次々に同様の意見書が可決されています。3月末までで16市町村議会（北上市、平泉町、田野畑村、一戸町、久慈市、二戸市、大船渡市、軽米町、花巻市、陸前高田市、宮古市、奥州市、九戸村、住田町、矢巾町、西和賀町）が可決しました。地域で話題にしながら、2000万署名運動につなげましょう！

### 今月の署名行動

今日は、9日（土）12：00～12：45「野村證券前」です。今月が2000万署名達成に向けた取り組み最終月となっています。目標に向け頑張りましょう！